

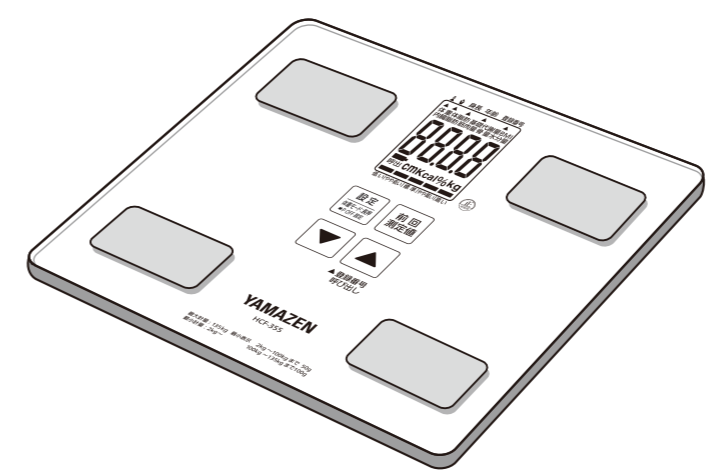


体重体組成計 HCF-355

取扱説明書

保証書付

すぐに使える
モニター電池付



目次

- 安全上のご注意 1～4
- 各部の名称 5
- 表示部の説明・ご使用する前に 6
- 個人登録の仕方 7～8
- 測定方法 / 体組成の測定(乗るだけで測定する) .. 9
- 測定方法 / 体組成の測定(手動で登録番号を選んで測定する) .. 10
- 測定方法 / 体重の測定(ゲストモードの設定) .. 11
- 測定方法 / 前回測定値の呼び出し・消去 .. 12
- 参考基準表 13～14
- 主な体組成の項目について 15
- 故障かな?と、思ったら 16
- 仕様と規格 17
- アフターサービス 18
- 保証書 裏表紙

このたびは、弊社製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。
ご使用前に、この「取扱説明書」と「保証書(裏表紙)」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。
お読みになった後は、いつでも取り出せるところに大切に保管してください。
※この商品は、一般家庭で体重・体組成の計量をする際に使用するものです。

安全上の

ご注意

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

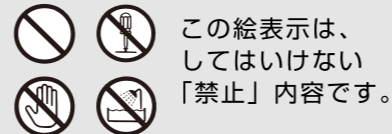
警告

この表示の欄は、「死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。

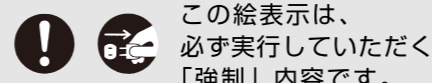
注意

この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、
してはいけない
「禁止」内容です。



この絵表示は、
必ず実行していただく
「強制」内容です。

警告



業務用（病院や診療所など）には使用しない。



禁止

業務用としての機能を備えていません。



ペースメーカーなどの医療電子機器を体内に装着している方は絶対に使用しない。



禁止

体内の機器の誤動作による重大な事故の原因になります。



体の不自由な方が使用する場合は、一人で測定しない。



禁止

介護者に援助してもらるか、手すりなどを利用してください。手すりなどを利用して測定した数値は参考値としてとらえてください。



子供だけで使用したり、幼児の手の届くところで使用しない。



禁止

ケガをする恐れがあります。



濡れた床や滑りやすい場所で使用しない。水につけたり、かけたりしない。



水場使用
禁止

滑ったり転倒したりして大ケガをする恐れがあります。本体に水が入り故障の原因になります。



本機に飛びのったり、飛び跳ねたり、端にのったりしない。



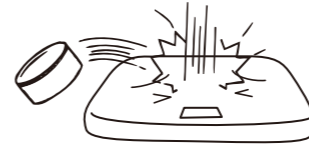
禁止

転倒して大ケガをする恐れがあります。

注意



本体に衝撃をあたえない。



禁止

本体が割れてケガをする原因になります。破損や故障の原因になります。



修理技術者以外の人は、絶対に分解・修理・改造を行わない。



分解禁止

破損や故障の原因になります。



不安定な場所では使用しない。



禁止

転倒して大ケガをする恐れがあります。



直射日光のあたる場所や暖房機器などの近くでは使用しない。



禁止

破損や故障の原因になります。



入浴後など、濡れた体でのらない。必ず足の裏の水分を拭いてからのってください。



禁止

表面が滑りやすくなるため転倒して大ケガをする恐れがあります。測定誤差や故障の原因になります。



湿気や磁気の多い場所には置かない。



禁止

破損や故障の原因になります。



本体と床の隙間に手を入れない。



禁止

ケガをする原因になります。



表示画面や操作部のらない。



禁止

破損や故障の原因になります。

ご使用いただくためのお願い

- お手入れの際、シンナー・ベンジン・ガソリンなどを使用しないでください。
- 本体の汚れは柔らかい乾いた布で拭き取ってください。
- 汚れがひどいときは、ぬるま湯または中性洗剤をしみこませた、硬く絞った布で拭きとってください。
- 高温・多湿・ホコリなどを避け、振動や衝撃のあるところでの保管はしないでください。
- 塩化ビニール製のクッションフロアの上に置くと、本体裏面のゴム足の跡が色移りする可能性があるため置かないでください。
- 立てかけた状態で保管しないでください。
- 本体の上に物を置いた状態で保管しないでください。測定値に誤差が生じる場合があります。また、電池の消耗が早まり故障の原因となります。

正しく測定結果を得るためのお願い

- なるべく裸に近い状態で測定を行ってください。
- 体組成を測定する場合は素足で行ってください。
- 畳、絨毯、カーペット、塩化ビニール製のクッションフロアなどの柔らかい場所で使用しないでください。
- 測定中は動かないでください。動いている間は数値が変動し、正しく測定できない場合があります。
- 風呂上りの時は、水気をよく拭き取ってから使用してください。
- 正確に測定するために、本体をフローリングなどの床が固い安定した平面上に置き、使用してください。
- 測定結果が表示されるまで、本体の上に乗って行ってください。測定中に本体から降りてしまうと、測定結果を表示しない場合があります。

次のような場合は正常な測定ができません

- 正しく電極部にのっていない場合。
- 足の内ももがついている場合。(乾いた布などを挟んで測定を行ってください。)
- 靴下などを履いたり、足の裏が汚れている場合。
- 座ったまま、ひざを曲げた状態で測定を行った場合。
- 食事や起床直後や、あまり体を動かしていない場合。
- 体調の悪い(発熱、暴飲暴食後、二日酔いなど)場合。
- 多量の発汗後。(長湯、サウナ、激しい運動を行った後など)
- かかとかが固く(角質層)になっている場合。

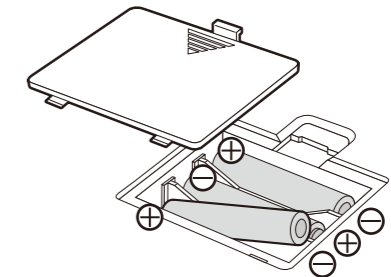
⚠ 電池の警告

- 万一、電池の液が目に入った場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流し、医師の治療を受けてください。

⚠ 電池の注意

- 万一、電池の液が皮膚や衣服に付着した場合は、すぐに多量のきれいな水で洗い流してください。
皮膚や衣服をいためる恐れがあります。

- 電池の ⊕ ⊖ を間違えないでください。
使い切った電池はすぐに取り外し、
3本同時に新しいものと交換してください。



● ⊕ ⊖ 正しく電池がセットされていない状態。

長期間(3カ月以上)使用しないときは、電池を取り外しておいてください。
漏液、発熱、破裂などを起こし、ケガをする恐れがあります。

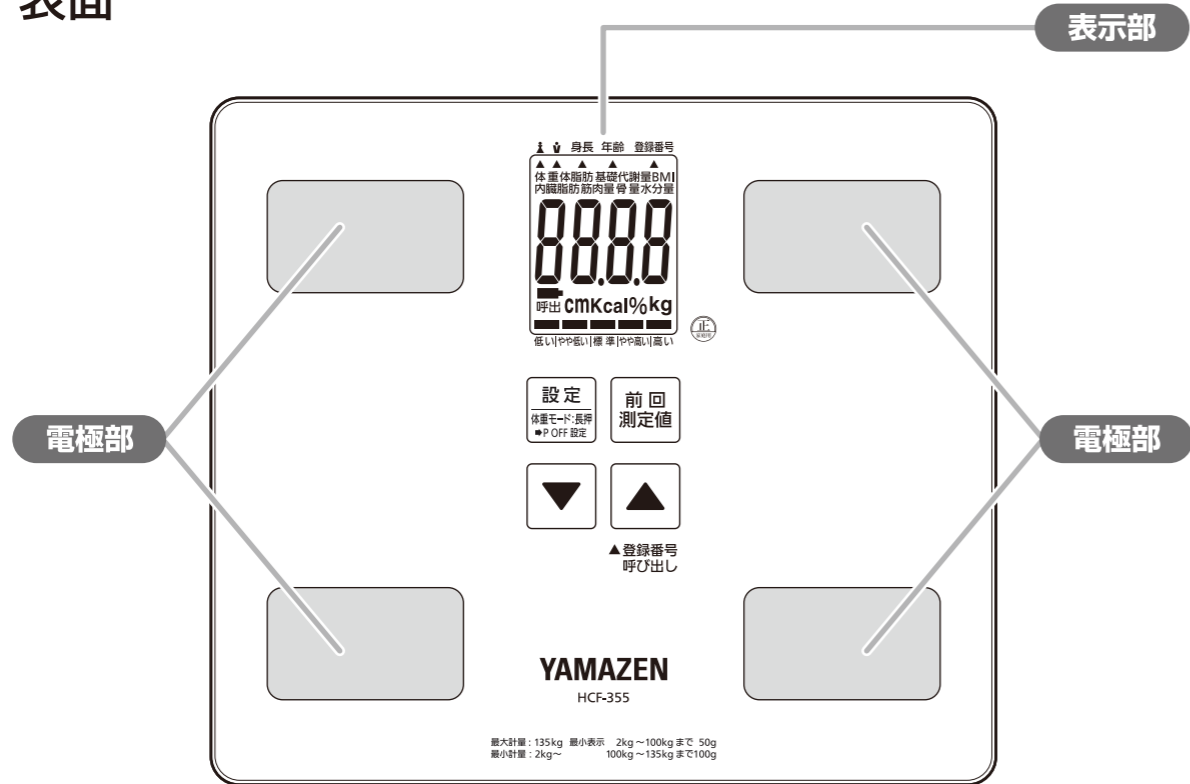
- 新しい電池と古い電池、種類の違う電池を同時に使用しないでください。
漏液、発熱、破裂などを起こし、ケガをする恐れがあります。

充電式電池を使用すると寿命が短くなる場合があります。
また、電池消耗サインが正しく表示されないことがあります。

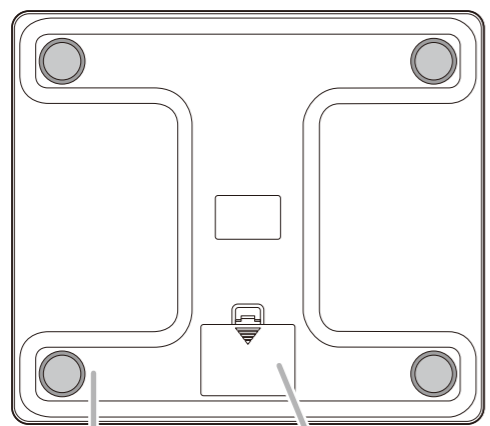
- 電池を加熱したり、火の中に入れてしないでください。
破裂してケガをする恐れがあります。

各部の名称

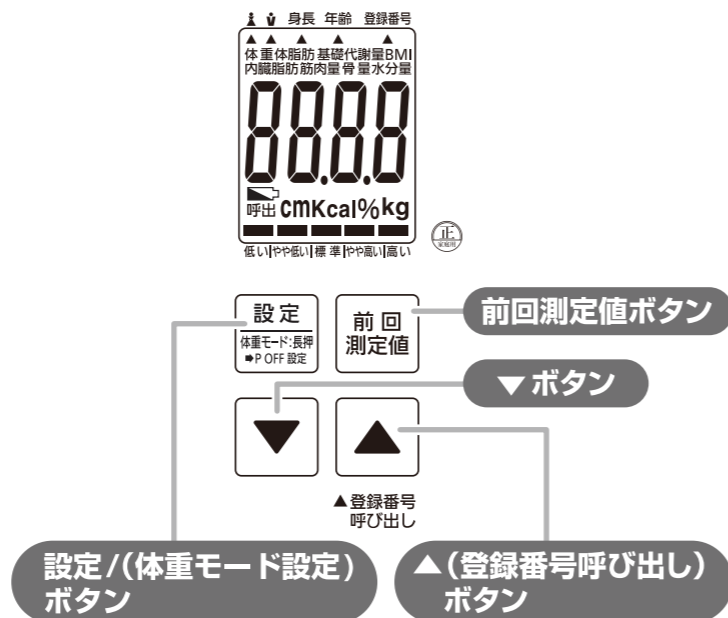
表面



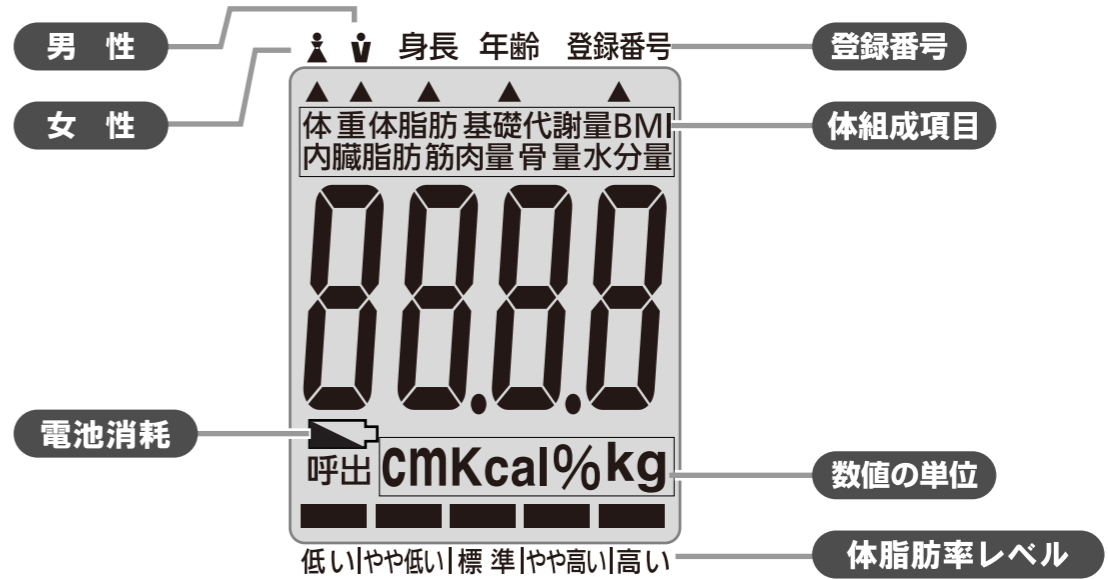
裏面




表示部



表示部の説明

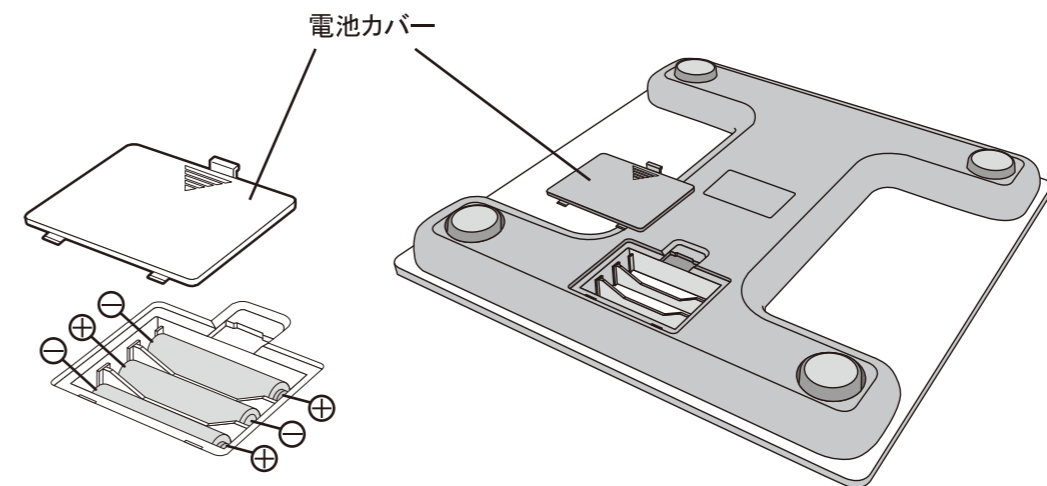


■ 電池消耗サイン

※ 電池が消耗してくると表示部に  が表示されます。速やかに新しい電池と交換してください。(正しく動作しない場合があります。)

ご使用する前に

本体裏面の電池カバーを外し、同梱している電池3本を ⊕ ⊖ を確かめて、間違えのないように本体にセットしてください。



- ※ あらかじめ製品に同梱している電池は、お試し用のモニター電池なので、電池寿命が短い場合があります。
- ※ 電池は消耗品なので、寿命がきたら、お買い求めください。
- ※ 電池を交換する場合は、電池がセットされていた状態と同じように正しくセットしてください。

個人登録の仕方

※個人登録をしていないと体組成は測定できません。※個人登録はP1～P5まで5名分登録できます。
 ※電池を交換した後も設定した内容は保存されます。



① 設定ボタンを押す

電源を入れる

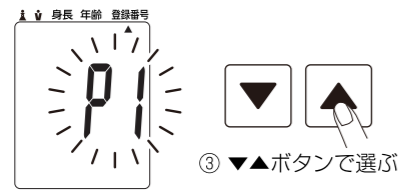
① 設定ボタンを押して電源を入れます。



② 設定ボタンを押す

② 続けて設定ボタンを押します。
 SEtと表示した後、登録画面に変わります。

※「登録番号」が点滅します。



③ ▼▲ボタンで選ぶ


「登録番号」を設定する

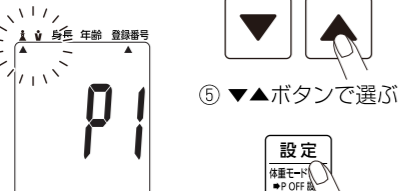
③ ▲▼ボタンを押して、P1～P5の中から
 ご自身が登録する登録番号を選びます。



④ 設定ボタンを押す

④ 設定ボタンを押すと、登録番号が決定します。

※「登録番号」が決定すると「性別」 (男性)の
 ▲が点滅します。



⑤ ▼▲ボタンで選ぶ

「性別」を設定する

⑤ ▲▼ボタンを押して、性別を選びます。



⑥ 設定ボタンを押す

⑥ 設定ボタンを押すと、性別が決定します。

※「性別」が決定すると「身長」の数値が点滅します。



⑦ ▼▲ボタンで入力

「身長」を設定する

⑦ ▲▼ボタンを押して、身長を入力します。



⑧ 設定ボタンを押す

⑧ 設定ボタンを押すと、身長が決定します。

※「身長」が決定すると「年齢」の数値が点滅します。

「年齢」を設定する

⑨ ▲▼ボタンを押して、年齢を入力します。

⑩ 設定ボタンを押すと、年齢が決定します。

その後、設定した登録番号、性別、
 身長、年齢を表示して、電源は**自動で切れます**。

➡ つづけてご自身の体重・体組成を登録します。(次ページ)

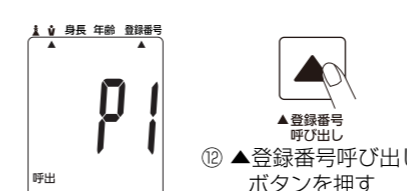
個人登録の仕方～続き～



⑪ 設定ボタンを押す

電源を入れる

⑪ つづけて、設定ボタンを押して電源を入れます。



⑫ ▲登録番号呼び出しボタンを押す

「登録番号」の呼出し

⑫ ▲登録番号呼び出しボタンを押します。



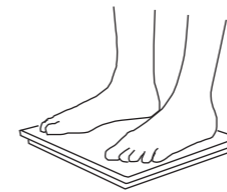
⑬ ▼▲ボタンで選ぶ

⑬ ▲▼ボタンを押して、P1～P5の中から
 先ほど登録したご自身の登録番号を選びます。



⑭ 測定準備の完了

⑭ 登録番号を選ぶと、性別、身長、年齢を順に表示し、
 0.00 kgの画面となります。
 これで体重・体組成の測定準備の完了となります。



⑮ 測定

体重・体組成の測定

⑮ 0.00 kgの画面になったら、本体の上に
素足で正しく乗ってください。測定を開始します。

体重を表示した後、電子音が鳴り、体組成の項目を
 表示するまで本体の上に乗っててください。



⑯ 体重の表示例

⑯ 体重を表示した後、体組成の項目を表示します。
 体組成の項目を2回繰り返して表示すると、
 電源は**自動で切れます**。

これで、ご自身の体重・体組成の項目が、
 個人登録番号に登録されました。

注意

※個人登録を終了していないと、体重しか測定できません。

※登録番号は消去できません。登録内容を修正する場合は、
 同じ番号を選んで登録しなおしてください。

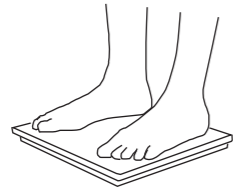
※次回、測定するときは、本体のボタンを何も押さずに
 乗るだけで測定できます。

➡ 詳しくは9ページを参照してください。

測定方法 / 体組成の測定 (乗るだけで測定する)

※個人登録をしていないと体組成は測定できません。

乗るだけで測定する機能とは、体重・体組成を測定した結果から、同じ体重もしくは、±4k g以内の体重の登録番号の中から、候補を選んで表示する機能です。



① 測定



① 体重の表示例

体重・体組成の測定

① 画面に何も表示していない状態で、本体の上に素足で正しく乗ってください。測定を開始します。

体重を表示した後、電子音が鳴り、候補となる登録番号を表示するまで本体の上に乗っててください。

体重を表示した後、候補の登録番号を表示します。

※ 今回測定した体重が、ご自身が登録した登録番号に記録されている体重よりも ±4k g以上の体重の増減がある場合は、うまく機能しません。その場合は、「登録番号を選んで測定する」に従って測定してください。➡ 10 ページを参照してください。



②-A 候補の表示例

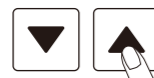
② -A 候補の登録番号が1つの場合

候補の登録番号を表示した後、ひきつづき体組成の項目を表示します。

体脂肪率→基礎代謝量→BMI(肥満指数)→内臓脂肪→筋肉量→骨量→水分量→体重の順に2回表示します。



②-B 候補の登録番号が複数ある場合の表示例



③ ▼▲ボタンで選ぶ



④ 設定ボタンを押す

② -B 候補の登録番号が2つ以上ある場合

測定した体重と同じ体重の登録番号が他にある場合、または、測定した体重 ±4k g以内の体重の登録番号が他にある場合は、候補となる登録番号を続けて表示します。

候補の登録番号が複数表示したら、本体から静かに降りてください。

③ご自身の登録番号を▼▲ボタンで選びます。

④その後、設定ボタンを押します。

体脂肪率→基礎代謝量→BMI(肥満指数)→内臓脂肪→筋肉量→骨量→水分量→体重の順に2回表示します。

② -C 候補の登録番号がない場合

測定した体重と同じ体重の登録番号、または、測定した体重 ±4k g以内の体重の登録番号が他に登録されていない場合は、**体重のみ**を表示します。

測定方法 / 体組成の測定 (手動で登録番号を選んで測定する)

※個人登録をしていないと体組成は測定できません。

⊘ 入浴後など濡れた体でのらない。ガラス表面がすべりやすくなるため転倒したりして大ケガをする恐れがあります。
Ⓛ ガラス表面が濡れた場合は、必ず水分を拭きとってからご使用ください。



① 設定ボタンを押す

電源を入れる

① 設定ボタンを押して電源を入れます。



② ▲登録番号呼び出しボタンを押す

「登録番号」の呼出し

② ▲登録番号呼び出しボタンを押します。

③ 登録番号の表示

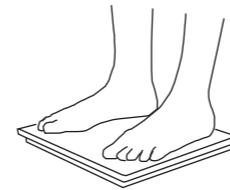


③ ▼▲ボタンで選ぶ

③ ▲▼ ボタンを押して、P1～P5の中からご自身の登録番号を選びます。

④ 登録番号を選ぶと、性別、身長、年齢を順に表示し、0.00 k gの画面となります。これで体重・体組成の測定準備の完了となります。

④ 測定準備の完了



⑤ 測定



⑥ 体重の表示例

体重・体組成の測定

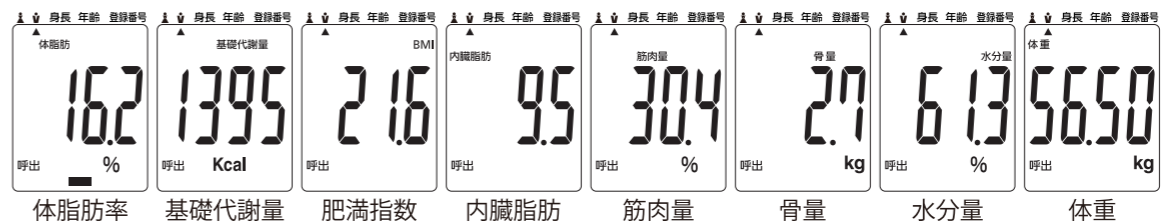
⑤ 0.00 k gの画面になったら、本体の上に素足で正しく乗ってください。測定を開始します。

体重を表示した後、電子音が鳴り、体組成の項目を表示するまで本体の上に乗っててください。

⑥ 体重を表示した後、体組成の項目を表示します。体脂肪率→基礎代謝量→BMI(肥満指数)→内臓脂肪→筋肉量→骨量→水分量→体重の順に2回表示します。

体組成の項目を2回繰り返して表示すると、電源は **自動で切れます。**

⑥ 体重・体組成の項目 表示例



測定方法 / 体重の測定 (ゲストモードの設定)

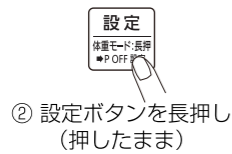
※個人登録をしていないと体組成は測定できません。

- ⊘ 入浴後など濡れた体でのらない。ガラス表面がすべりやすくなるため転倒したりして大ケガをする恐れがあります。
- ❗ ガラス表面が濡れた場合は、必ず水分を拭きとってからご使用ください。

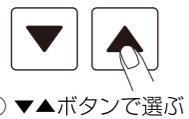
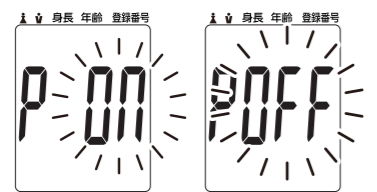
乗るだけで測定する機能をOFFにして、体重を測定 (ゲストモード) します。
※登録番号や、前回測定値への記録には、反映されません。



① 設定ボタンを押す



② 設定ボタンを長押し (押したまま)



④ ▼▲ボタンで選ぶ



⑤ 設定ボタンを押す

電源を入れる

- ① 設定ボタンを押して電源を入れます。
- ② 0.00 kgの画面の状態、設定ボタンを長押しします。(3~4秒の間、表示が変わるまで押し続けてください)
- ③ P ON または P OFF を表示します。(ON または OFF の文字が点滅しています)
乗るだけで測定する機能 → P ON の表示
ゲストモード → P OFF の表示
- ④ ▼▲ボタン押し、画面に P OFF を表示した状態にします。
- ⑤ 設定 ボタンを押すと体重測定モード (ゲストモード) になります。つづけて、体重を測定してください。

※ 設定した後、約10秒で電源が切れます。体重を測定する場合は、電源が切れる前に測定してください。

※ 一度電源が切れるとゲストモードはOFFになります。(乗るだけで測定する機能が ON になります)

体重の測定

- ⑥ 0.00 kgの画面になったら、本体の上に素足で正しく乗ってください。測定を開始します。
体重を表示したあと、電子音が鳴るまで、本体の上に乗ってください。
体重を表示したあと、電源は自動で切れます。

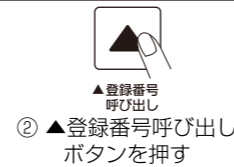


⑥ 体重の表示例

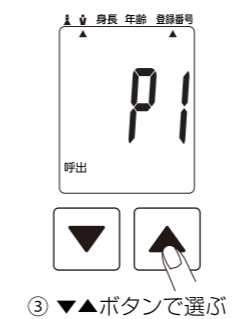
測定方法 / 前回測定値の呼び出し・消去 (個人登録済み)



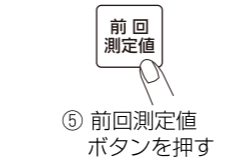
① 設定ボタンを押す



② ▲登録番号呼び出しボタンを押す



③ ▼▲ボタンで選ぶ



⑤ 前回測定値ボタンを押す



測定値がない場合



測定値を消去中

電源を入れる

- ① 設定ボタンを押して電源を入れます。

「登録番号」の呼び出し

- ② ▲登録番号呼び出しボタンを押します。
- ③ ▲▼ ボタンを押して、P1 ~ P5の中からご自身の登録番号を選びます。
- ④ 登録番号を表示し、その後、性別、身長、年齢を表示し、0.00 kgの画面になります。

「前回測定値」の呼び出し

- ⑤ 0.00 kgの画面の状態、前回測定値ボタンを押してください。
- ⑥ 「登録番号」の呼び出し で選択した登録番号の最新の測定値を表示します。
体脂肪率 → 基礎代謝量 → BMI(肥満指数) → 内臓脂肪 → 筋肉量 → 骨量 → 水分量 → 体重の順に2回表示します。

※ 「登録番号」の呼び出し をしないで、前回測定値ボタンを押すと、登録番号には関係なく、本体で最後に表示した前回の測定値を表示します。

※ 前回測定値がない場合は、画面に -no- と表示します。

※ 前回測定値を表示中に、前回測定値ボタンを長押しする (ボタン押し続ける) とClrと表示して、測定結果を消去します。

参 考 基 準 表

■体脂肪率

年齢	体脂肪レベル	体脂肪(%)	
		女性	男性
子 供 6～11歳	低い	11未満	9未満
	やや低い	11～14未満	9～11未満
	標準	14～24未満	11～21未満
	やや高い	24～27未満	21～24未満
	高い	27以上	24以上
子 供 12～15歳	低い	12未満	7未満
	やや低い	12～16未満	7～10未満
	標準	16～24未満	10～20未満
	やや高い	24～29未満	20～23未満
	高い	29以上	23以上
大 人 16～39歳	低い	17未満	10未満
	やや低い	17～21未満	10～13未満
	標準	21～29未満	13～21未満
	やや高い	29～33未満	21～25未満
	高い	33以上	25以上
大 人 40～59歳	低い	20未満	13未満
	やや低い	20～24未満	13～16未満
	標準	24～33未満	16～24未満
	やや高い	33～37未満	24～29未満
	高い	37以上	29以上
大 人 60歳以上	低い	21未満	15未満
	やや低い	21～25未満	15～18未満
	標準	25～36未満	18～27未満
	やや高い	36～40未満	27～31未満
	高い	40以上	31以上

■女 性

	年齢	水分量(%)	筋肉量(%)	骨量(kg)	基礎代謝量(kcal)
子 供	6～11歳	54～65	24～34	0.9～1.8	1000～1200
	12～15歳	54～64	28～38	1.3～2.0	1200～1400
大 人	16～39歳	50～60	32～38	1.8～2.4	1100～1500
	40～59歳	45～55	30～36	1.8～2.4	1100～1300
	60歳以上	40～55	29～35	1.8～2.2	1000～1200

■男 性

	年齢	水分量(%)	筋肉量(%)	骨量(kg)	基礎代謝量(kcal)
子 供	6～11歳	56～67	25～36	1.0～2.0	1000～1300
	12～15歳	58～69	32～44	1.5～2.5	1400～1600
大 人	16～39歳	55～65	38～44	2.0～3.0	1400～1700
	40～59歳	50～60	36～42	2.0～3.0	1300～1600
	60歳以上	45～60	34～40	2.0～2.8	1100～1400

■肥満指数 (BMI)

低体重(痩せ型)	18.5 未満
普通体重	18.5 以上～25 未満
肥満(1度)	25 以上～30 未満
肥満(2度)	30 以上～35 未満
肥満(3度)	35 以上～40 未満
肥満(4度)	40 以上

※肥満度の判定には、国際的な標準指標であるBMI (Body Mass Index: 体重(Kg)/身長(m)²)が用いられています。

※BMIは成人にのみ用いられる指標です。

※参考基準表の数値は「日本肥満学会 新しい肥満の判定と肥満症の診断基準2000年」による判定基準です。

※BMIは身長と体重から計算された値であるため、これだけでは筋肉質なのか脂肪過多なのか区別できません。参考値として、目安にしてください。

※厚生労働省「e-ヘルスネット」を参考にしています。

■内臓脂肪レベル

標準	9.5 以下
やや高い	10 ～14.5
高い	15 以上

※内臓まわりの脂肪をレベル化して表示しています。

※内臓脂肪は皮下脂肪と比べて、たまりやすく減りやすいという特徴があるため、たまる原因となっている食べ過ぎや運動不足などの不健康な生活習慣を改善するといわれています。

※表示される内臓レベルはあくまでも目安です。医学的な診断については、医師にご相談ください。

※この参考基準表は一般的な数値をまとめたものです。参考値として目安にしてください。

※成長期の子様については成長の度合いによって差が大きくなる事があります。

※基礎代謝量は、厚生労働省「日本人の栄養所要量」基準体位を参考にしています。

測定結果は、おおまかな目安で日常の生活活動レベルにより差が生じますので参考値として目安にしてください。

主な体組成の項目について

■水分量

体水分は老廃物の回収や栄養の運搬をしたり体温を保持しています。加齢によって水分量が減るといわれています。

■筋肉量

筋肉は体の姿勢維持や体を動かしたりするために重要な役割を果たしています。ハードな運動ではなく有酸素運動などで代謝量を上げることで筋肉量の改善がはかれるといわれています。

■基礎代謝量

基礎代謝量が少ない人は脂肪が蓄積し太りやすいといわれ多い人は脂肪が燃えやすく太りにくいといわれています。

■骨量

骨量の改善はカルシウムなどの栄養を適度に摂取し適度な運動をすることで吸収され改善がはかれるといわれています。

■BMI(肥満指数)

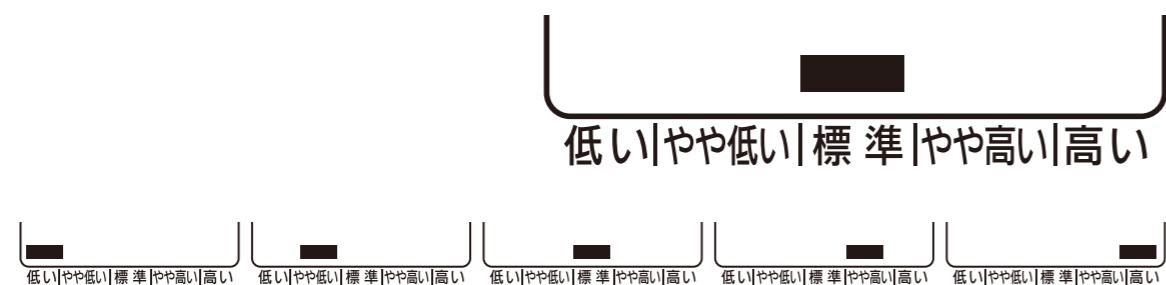
現在、肥満の判定は、身長と体重から計算されるBMIという数値で行われています。これはBody Mass Indexの略で、日本肥満学会が決めた判定基準では、統計的にもっとも病気にかかりにくいBMI22を標準とし25以上を肥満として、肥満度を4つの段階に分けています。(取扱説明書参照)

■内臓脂肪

内臓脂肪は皮下脂肪と比べて、たまりやすく減りやすいという特徴があります。メタリックシンドロームのベースとなっている内臓脂肪は、ためる原因となっている食べ過ぎや運動不足などの不健康な生活習慣を改善することで減らせます。メタリックシンドロームの簡便な目安としてウェストの周囲径(男性85cm以上、女性90cm以上)が採用されています。

体脂肪率レベル表示について

測定した体脂肪率を画面の下側に、低い・やや低い・標準・やや高い・高いの5段階のバーで表示します。
(詳しい体脂肪率の数値は、9ページ「参考基準表」をご覧ください)



故障かな?と、思ったら…

■ 修理を依頼される前に、次のことをご確認ください。

こんな場合	調べるところ
電源が入らない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 電池の⊕⊖は正しいですか。電池の方向を確認してから、しっかり入れてください。 ● 電池が消耗している可能性があります。新しい電池(3本同時に)と交換してください。
エラー表示が出た。	<ul style="list-style-type: none"> ● 足の裏が電極部と密着していますか。 ● 測定中は、なるべく動かずに測定してください。 ● 電極部が汚れていませんか。 ● 登録は正しく行われていますか。 ● Lo表示の際は、電池が消耗している可能性があります。新しい電池(3本同時に)と交換してください。 ● 体組成の項目が表示するまで、なるべく動かずに本体の上に乗っててください。
体重が測定できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 体重が135kgを超える場合は測定できません。 ● 柔らかい不安定な場所で測定を行っていませんか。 ● 電池が消耗している可能性があります。新しい電池(3本同時に)と交換してください。 ● 測定中はなるべく動かずに測定してください。
体組成が測定できない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 個人登録は完了していますか。個人登録を行わないと測定できません。(7~8ページ参照) ● 足が乾燥していると反応しない場合があります。水を含ませ、硬く絞ったタオルなどで足を拭いてからお試してください。 ● 前回測定時から±4kg以上の体重差がある場合は手動で行ってください。(10ページ参照)
測定結果が前回と極端にちがう。	<ul style="list-style-type: none"> ● 柔らかい不安定な場所で測定を行っていませんか。
操作ボタンが反応しない。	<ul style="list-style-type: none"> ● 手が乾燥していると反応しない場合があります。水を含ませ、硬く絞ったタオルなどで手を拭いてからお試してください。 ● 操作ボタンが汚れていませんか。汚れを拭きとってお試してください。



改造はしない! 修理技術者以外の人は絶対に分解したり、修理しない!


- 火災・けが・感電の原因になります。
- 故障したときは、使用を中止し、お買い上げの販売店にご連絡ください。

仕様と規格

■仕様

品名	体重体組成計
電源	単4形乾電池(1.5V)×3本
質量	(約)1350g(電池含む)
品番	HCF-355
寸法	(約)幅280mm×奥行245mm×高さ25mm

■規格

体重表示・単位	2~100kgまで：50g単位 100超~135kg：100g単位	
体脂肪率表示・単位	1.0~60.0%：0.1%単位	
体水分量表示・単位	20.0~75.0%：0.1%単位	
筋肉量表示・単位	10.0~50.0%：0.1%単位	
基礎代謝量表示・単位	1~9999kcal：1kcal単位	
骨量表示・単位	1.0~3.5kg：0.1kg単位	
肥満指数表示・単位	0~220：0.1単位	
内臓脂肪表示・単位	1~99：0.5単位	
設定項目	登録人数	5名
	性別	男性/女性
	身長	80~240cm
	年齢	6~100才
電池寿命	約1年(1日4回測定の場合)	
エラー表示	 ：電池残量が少なくなると表示されます。 "OLd"：最大計量135kgを超えると表示されます。 "Err"：不安定な測定など、その他測定できない場合に表示されます。 "Lo"：電池残量が少なく正常に機能しない場合に表示されます。	

体重計の精度について

- この体重計は計量法に定められた技術基準で製造し、厳重な検査の上、出荷しております。
- この体重計は体重をはかるために製造されたはかりで、物の売買取引や、そのものの目方が正しいかどうかなどを証明することには、計量法により使用できませんのでご注意ください。



アフターサービスについて

製品の保証について

- この説明書には製品の保証書がついています。(裏表紙)
保証書は、お買上げの販売店で「お買上げ日」「販売店名」などの記入を受け、ご確認のうえ内容をよくお読みいただき大切に保管してください。
- 保証期間はお買上げ日より1年間です。
保証書の記載内容により修理をいたしますが、保証期間中でも有料となる場合があります。(販売証明書またはレシート紛失の場合は有料となります。)
- 保証期間後の修理
お買上げ販売店にご相談ください。修理によって使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

修理を依頼されるときは

13ページの「故障かな?と思ったら」に沿ってご確認していただき、それでも異常のあるときは、ただちにご使用を中止し、お買上げ販売店に保証書をご提示の上、修理をお申しつけください。ご自分での分解・修理は絶対にしないでください。感電やけがの恐れがあります。(保証期間内であっても、お客様自身で分解・修理された場合は有料修理扱いになります。)

補修用性能部品について

この製品の補修用性能部品の最低保有期間は製造打切り後6年です。補修用部品とは、この製品の、外観を構成する部品、液晶、性能を維持するために必要な部品です。

※製品を構成する上で、予告なく仕様変更することがあります。

■この商品についてのご不明な点や、修理に関するご相談は

この商品についてのご不明な点や、修理に関するご相談は

「下記の  に電話をおかけください。」

受付時間：(土・日・祝日を除く) 月~金 午前10時~12時、午後1時~5時

 **0120-933-195**

 株式会社 **山善** 家庭機器事業部

個人情報のお取り扱いについて

株式会社 山善及びその関係会社は、お客様の個人情報やご相談内容を、ご相談への対応や修理、その確認などのために利用し、その記録を残すことがあります。また、個人情報を適切に管理し、修理業務などを委託する場合や正当な理由がある場合を除き、第三者には提供しません。